

～新型コロナを乗り越え、その先へ～

新型コロナ対策

総額 94億7,036万円 (当初予算計上分 + 各補正予算分)

※特別定額給付金(78億7,029万円)など国支援の施策分を含む

感染拡大防止のための環境整備

■小・中学校、公立幼稚園などへ消毒液や体温計などを配備(785万円①)

■民間病院(伊賀地域二次救急実施病院)で救急患者受入れに必要な院内感染防止のための体制を整備(1,522万円③)

■市立病院における感染症対策のための医療機器などを整備(4,021万円⑤)★

院内感染防止対策で行っている面会制限中に、入院患者とリモート面会を行うためのWi-Fi環境を整備するほか、感染症対策に必要な医療機器や備品を購入します。

■名張市PCR検査センターを開設・運営(1,884万円④)

保健所を中心とした既存の新型コロナウイルス感染症の検査体制に加えて、県からの委託を受け、市と名賀医師会とが協働して「名張市PCR検査センター」を8月20日に開設しました。PCR検査(ウイルスの遺伝子を検出する検査)を受けやすい環境を整備するとともに、地域医療体制を確保し、更なる感染防止対策に取り組んでいます。



■市役所業務のテレワーク・Web会議導入に向けた環境を整備(1,895万円⑥)★

新型コロナウイルスの感染拡大防止、職員や来庁者などの安全を確保するため、タブレット端末やWeb環境の設定など在宅勤務や出勤制限などの緊急時でも業務を継続できる環境を整備します。

市議会の9月定例会(第394回)で提案した新型コロナウイルスへの対応に関する主な事業の概要をはじめ、これまで実施してきた市の取組をご紹介します。

※9月定例会(第394回)に提案している事業(★)は補正予算案が可決・成立した場合に実施するものです。

■指定避難所での感染拡大防止対策に必要な資機材などを整備(6,093万円④)

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨をはじめとする近年の激甚化する風水害、南海トラフ地震に備えるため、避難者の密接を避けた適切なゾーニング、衛生環境の整備、拡大防止対策を講じるために必要となる資機材(密集防止のための間仕切りなど)を整備します。

■感染対策として、公園トイレを洋式化(1億705万円⑤)★

現在、和式となっている市内公園(6施設)や名張中央公園のトイレについて、より感染リスクの低い洋式化へ改修整備を行います。

■小・中学校全児童生徒へタブレット端末を配備するなど教育ICT環境の整備(2億7,964万円③)

国が進めるGIGAスクール構想(※1)に基づき、ICT機器を利用した指導の充実と学習効果の向上を図るため、小・中学校全児童生徒にタブレット端末を配備します。(約6,000台配備予定)



■GIGAスクール構想の利活用に向けた整備(6,206万円⑤)★

GIGAスクール構想の運用実施に向けて、タブレット端末の初期設定を行うほか、中学校教室への大型モニターの整備や遠隔授業の実施のための機器整備などを行います。

Timeline table showing key events from August to May, including budget amendments, emergency declarations, and facility openings.

(※1) GIGAスクール構想: 誰一人取り残すことのない個別最適化された学びの実現のため、一人1台の学習用端末と高速ネットワーク環境などを整備する計画のこと。

◎新型コロナを乗り越えるために、市内では地域づくり組織やボランティア、事業者などが自発的に「つながり」をテーマに特集企画で紹介する予定です。

地域経済の回復と市民の暮らしを支援

事業費(予算額)横に記載の番号①～⑤は下段「新型コロナへの対応経過」に掲載の各補正予算の議決時期を表しています。なお、事業費(予算額)は表示単位未満を四捨五入しています。

■観光応援キャッシュバックキャンペーン(322万円②)

市内宿泊・観光施設を利用しSNSを通じて市内の観光情報を発信した人に、市内観光施設などの宿泊費や入場料、飲食代などの経費の一部を最大1万2千円まで補助しました。(※申込は終了しています)



■市内飲食店などで使えるプレミアム付食事券の発行補助(3,300万円②)

名張商工会議所が実施する市内の飲食店などで使えるプレミアム付食事券発行事業(5千円分の食事券を3千円で購入できる)に対して補助(プレミアム分の2千円)を行いました。(※食事券の販売は終了しました。利用は9月末までです。)

■県の休業要請に協力した中小企業などに対する協力金(1億円③)

県の緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力した中小企業・小規模事業者などに対して、県が交付する協力金のうち2分の1を市が負担。(県25万円+市25万円)(※申請受付は終了しています)

■需要が減少している伊賀牛を学校給食用食材として活用(155万円③)

■学校の臨時休業により影響を受けた給食食材納入事業者への補償(337万円③)

■観光応援キャンペーン第2弾(1,451万円④)

赤目四十八滝エコツアーの割引補助(1,000円)や「#名張感動」投稿キャンペーン(※宿泊費補助と青蓮寺湖ぶどう狩りの割引は終了)

■全世帯型プレミアム付商品券の発行補助(3億685万円⑤)★

名張商工会議所が実施する(仮称)全世帯型プレミアム付商品券発行事業(5千円分の商品券を3千円で購入できる)に対して補助(プレミアム分の2千円)を行います。(※詳細は10月25日発行の広報なばりでお知らせする予定です。)

■子育て応援商品券を配布(6,187万円⑤)★

対象は、令和2年12月31日時点で18歳以下(平成14年4月2日以降生まれ)の子どもで、一人につき5千円の商品券を配布します。(※詳細は10月25日発行の広報なばりでお知らせする予定です。)

配偶者からの暴力などを理由に市内に避難し、住民票を移すことができない人は、10月30日金までに手続きをしていただくと、商品券を受け取ることができます。詳しくは子ども家庭室(☎63-7594)まで

■赤ちゃん応援特別給付金(1,829万円⑤)★

対象は、令和2年4月28日から令和2年12月31日までに生まれた子どものいる世帯で、当該子ども一人当たり5万円の給付金を支給します。(※詳細は8ページに掲載しています。)

■乳幼児のインフルエンザ予防接種を無料化(2,353万円⑤)★

新型コロナウイルスとの同時流行を抑制することで、保護者や医療提供体制の負担を軽減します。乳幼児インフルエンザの予防接種の助成は10月26日(日)からです。(※詳細は10月10日発行の広報なばりでお知らせする予定です。)

Timeline table showing key events from April to January, including emergency declarations, facility openings, and budget amendments.

新型コロナへの対応経過

(※2) 予算の専決処分(8ページ): 地方自治法の規定に基づき、緊急時に議会を招集する時間がない場合などに、地方公共団体の長(市長)が議会の議決を経ずに予算を決定することです。